

安全な登山のための読図(1)

○地形図から読み取れる特徴的な登山用語の地形

① 峠 乗越

山越えの道が通る鞍部、または道が乗り越している尾根上を峠と呼ぶ。

○○乗越、○○越も同意



② コル(鞍部)

コルは英語、日本語では鞍部のこと。

2つのピークの間で低くくぼんだ場所を指す。

地形的には「コル(鞍部)」のあるところに「峠」があることになるが、「峠」は稜線の側面の片方から反対側に乗り越えるように道がつけられているのに対して、「鞍部」は稜線上に道があるところをいう。



③ キレット(切戸) 窓

稜線の一部が急激に切れ落ちている場所を指し、漢字では「切戸」などが使われる。

また、富山県側では「窓」と呼ばれる



④ 傾斜変換点

斜面の傾斜が急激に変化する点



⑤ 沢 谷 ゴルジュ(廊下)

沢及び谷は山や丘、尾根、山脈に挟まれた、周囲より標高の低い箇所が細長く溝状に伸びた地形をいう。

ゴルジュとは狭く切り立った岩壁に挟まれた谷のことで、日本ではノドや廊下などと呼ばれる。

ゴルジュはノドを意味するフランス語



⑥ 山頂(ピーク)

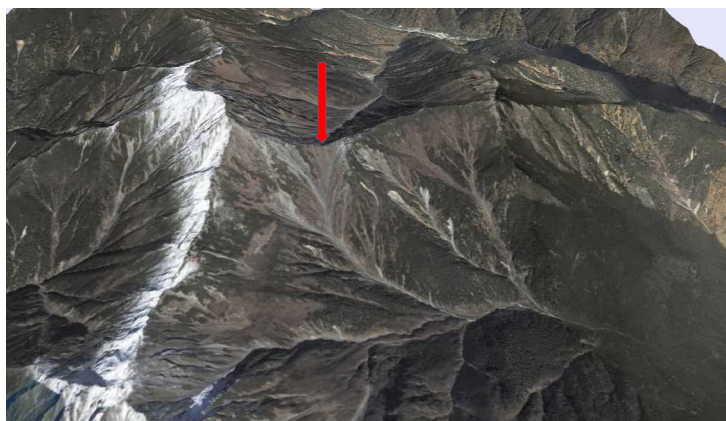
頂上は、山のような起伏のある地形において隣接した他の全ての地点よりも高い場所。



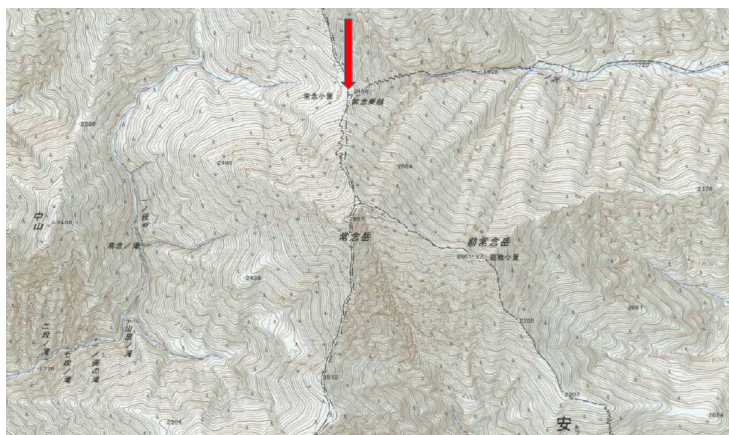
安全な登山のための読図(2)

○等高線から地形を読む (三次元空中写真との比較)

② コル(鞍部)



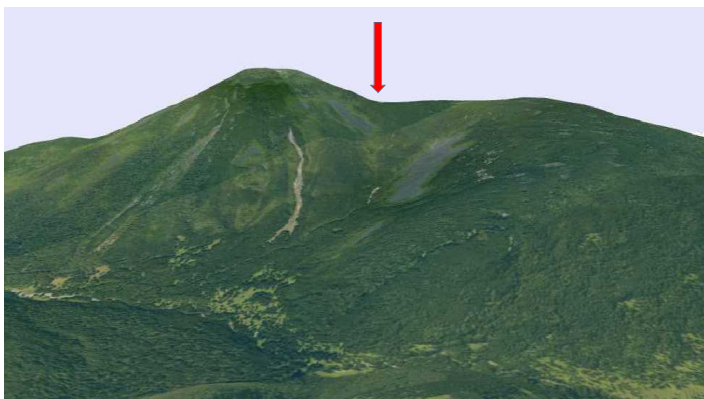
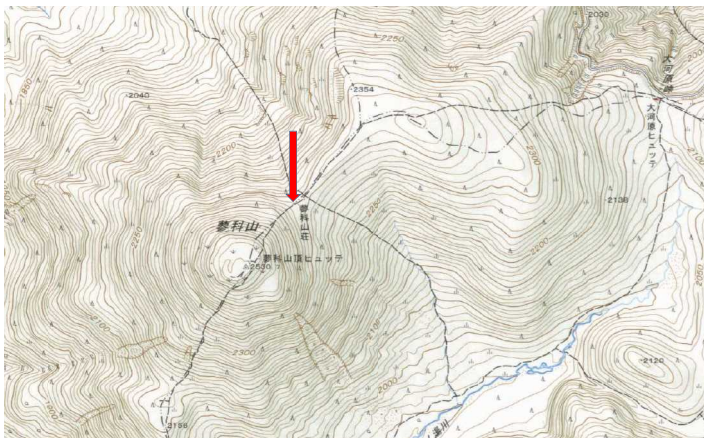
① 峠 乗越



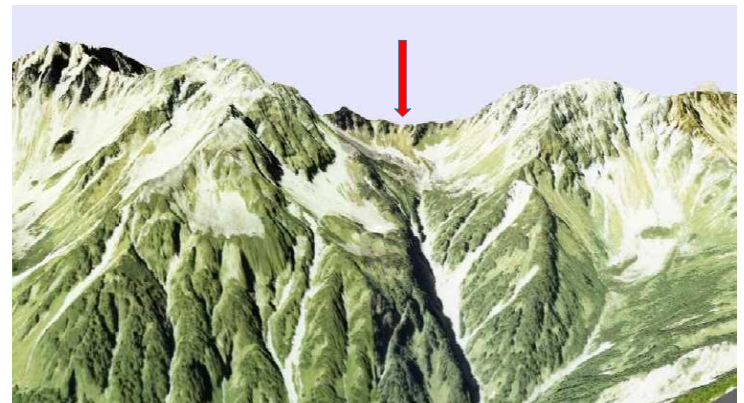
安全な登山のための読図(3)

○等高線から地形を読む（三次元空中写真との比較）

④ 傾斜変換点



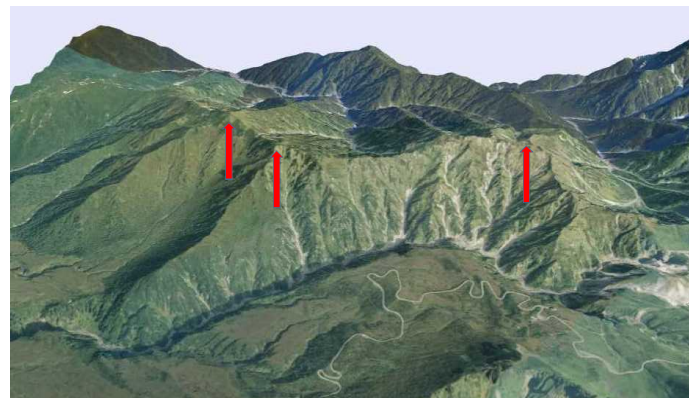
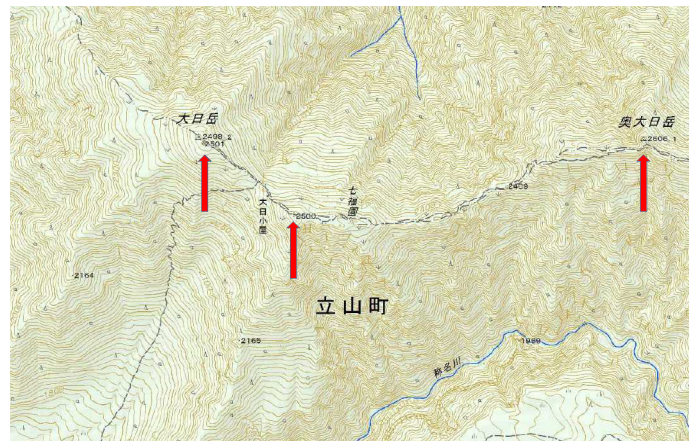
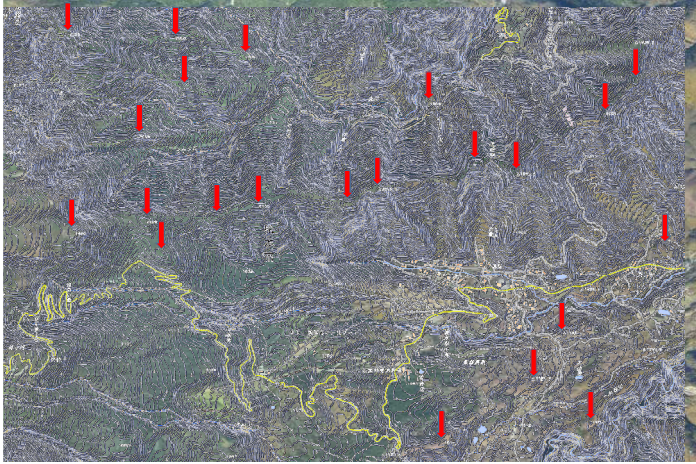
③ キレット(切戸) 窓



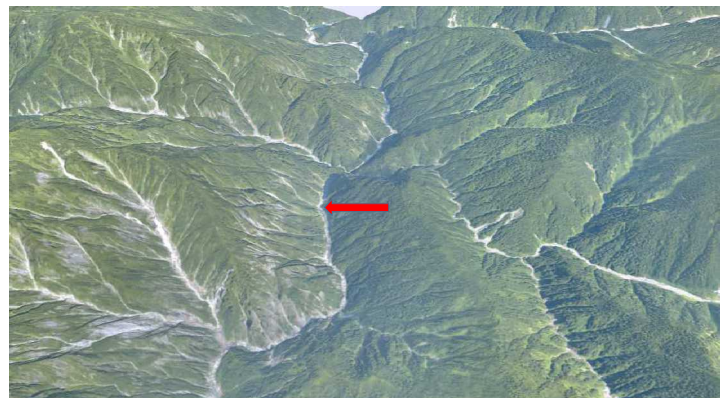
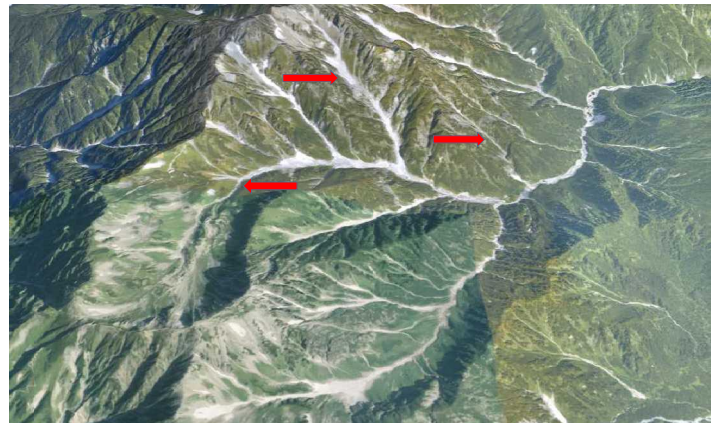
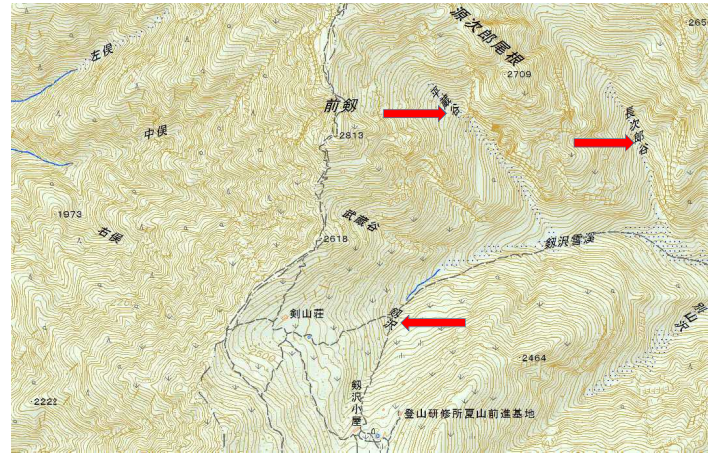
安全な登山のための読図(4)

○等高線から地形を読む（三次元空中写真との比較）

⑥ 山頂(ピーク)



⑤ 沢谷 ゴルジュ(廊下)



地域と連携した登山道調査

目的

地元自治体等の関係者と国土地理院が協力して、よりよい登山地図を作成し、登山者の安全安心の確保と地域の振興に資することを目的とする。

連携による登山道調査の流れ



- ✓ 地方公共団体、山岳関係者等が登山道を整備
- ✓ 山体全域で、登山道をネットワークとして調査

地域と連携した登山道調査

検討会

国の機関等

地方公共団体

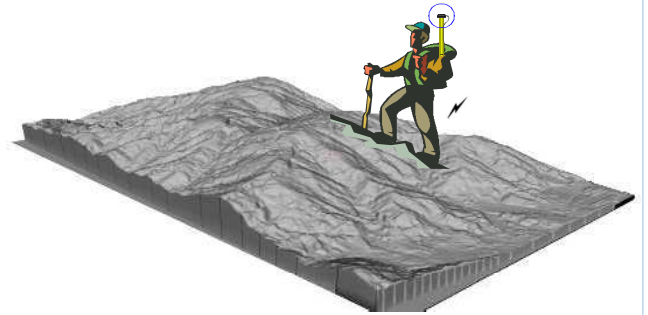
山岳関係者



- 関係者が、登山道の現況について情報交換し、調査を行うルート等を検討
- また、ボランティア等の調査実施者の選定や募集について検討

現地調査

GNSS測量機



- 関係者、ボランティア等が共同で現地調査を実施
- 国土地理院が、調査方法、調査に使用する機器(GNSS測量機)の貸与などの技術的な支援

地図への反映



調査結果を電子国土基本図に反映し、地理院地図等で公開



国土地理院の地形図に反映

市町村の登山ガイドマップ等に反映

登山道調査と結果

検討会



現地調査



雌阿寒岳地区登山道調査

